

歴史を感じるスポット

多福寺



川越藩主柳沢吉保が三富新田の開拓に着手した際、出身地の異なる農家同士の連帯感情を作り出し、精神的な支えとするために、元禄9年(1696)8月に建立した菩提寺。

住所 三芳町上富 1542

アクセス ライフバス『多福寺』下車 徒歩5分

多間院



川越藩主柳沢吉保が三富新田の開拓において農民の心の拠り所とするため、元禄9年(1696)に創建した祈願寺。

住所 所沢市中富 1501

アクセス ライフバス『多福寺』下車 徒歩14分

旧島田家住宅



江戸時代文化・文政期(1804～1829)に建築されたと考えられる茅葺屋根の民家住宅。江戸時代後期には寺子屋を営んだ。

開館時間 9:00～16:00

休館日 月曜日、祝日、年末年始

住所 三芳町上富 1279-3

アクセス ライフバス『上富小学校』下車

— 町の魅力を、未来に継承する —



朝倉はるみ 教授

淑徳大学 経営学部観光経営学科 教授。観光地を活性化させるマーケティング、観光計画の策定、受け入れ体制の整備など、多面的な視点で研究を行う。

自分の町の「お宝」を見つける

自分の地元を歩いたことがない人は意外と多いもの。今まで行ったことがなかった、気づけなかった地元の場所にもう一度目を向ける。そうすることによって三芳町の魅力を再確認してもらうことがこの事業のポイントだと思います。

町の各所に見える畑の整然と並んだ作物の葉の美しさ、人が手をかけた美しさは自然とは違った良さがあります。そんな三芳町らしい里地、里山、農地を楽しんで、自分の住む町の「お宝」を見つける。さらには町外の人にもお知らせして来てもらう。そんな風に来訪者のつながりを広げて、三芳町の魅力が伝わっていけばいいと思います。

先人から継承されてきた町の魅力は、住民一人ひとりの「町のことが好き」という思いによって未来に継承されていきます。緑が深くなるこれからの季節、日常の近くにある非日常を探す「小旅行」へ出掛けて、あなたの町の「お宝」を見つけてみませんか。

— 特集・終 —

然の中を歩くことでの健康保養、農業体験による食育など、多面的な機能を持つ「みよし野ガーデン里山探訪」は、都市近郊でありながら様々な価値に出会える可能性を秘めています。

未来のまちづくり

今、三芳町では、「みよしフォレスト・シティ構想」の策定を進めています。これは、「武蔵野の落ち葉堆肥農法を核とし、都市と田舎の調和の視点を取り入れた、持続可能な未来のまちづくりです。」

ここで重要なのは、自分の住む町の大好きな「お宝」を見つけ、価値を共有すること。「みよし野ガーデン里山探訪」はそのきっかけになります。